

これからの小中学校の 再編に向けた取組について

本日の説明内容

- 1 小中学校の適正配置の取組とは
- 2 取組を進める理由
- 3 これまでの取組
- 4 これからの取組

小中学校の適正配置の取組とは？

「これからの子どもたちにとって
**最高の教育環境を提供するには、
どうすればよいか。**」



小中学校の適正配置の取組とは？

20年

- 長い時間軸で考える。

取組を進める理由

- 1 児童生徒数の減少
- 2 施設の老朽化
 - ・新しい教育環境への対応

Ⅰ 児童生徒数の減少

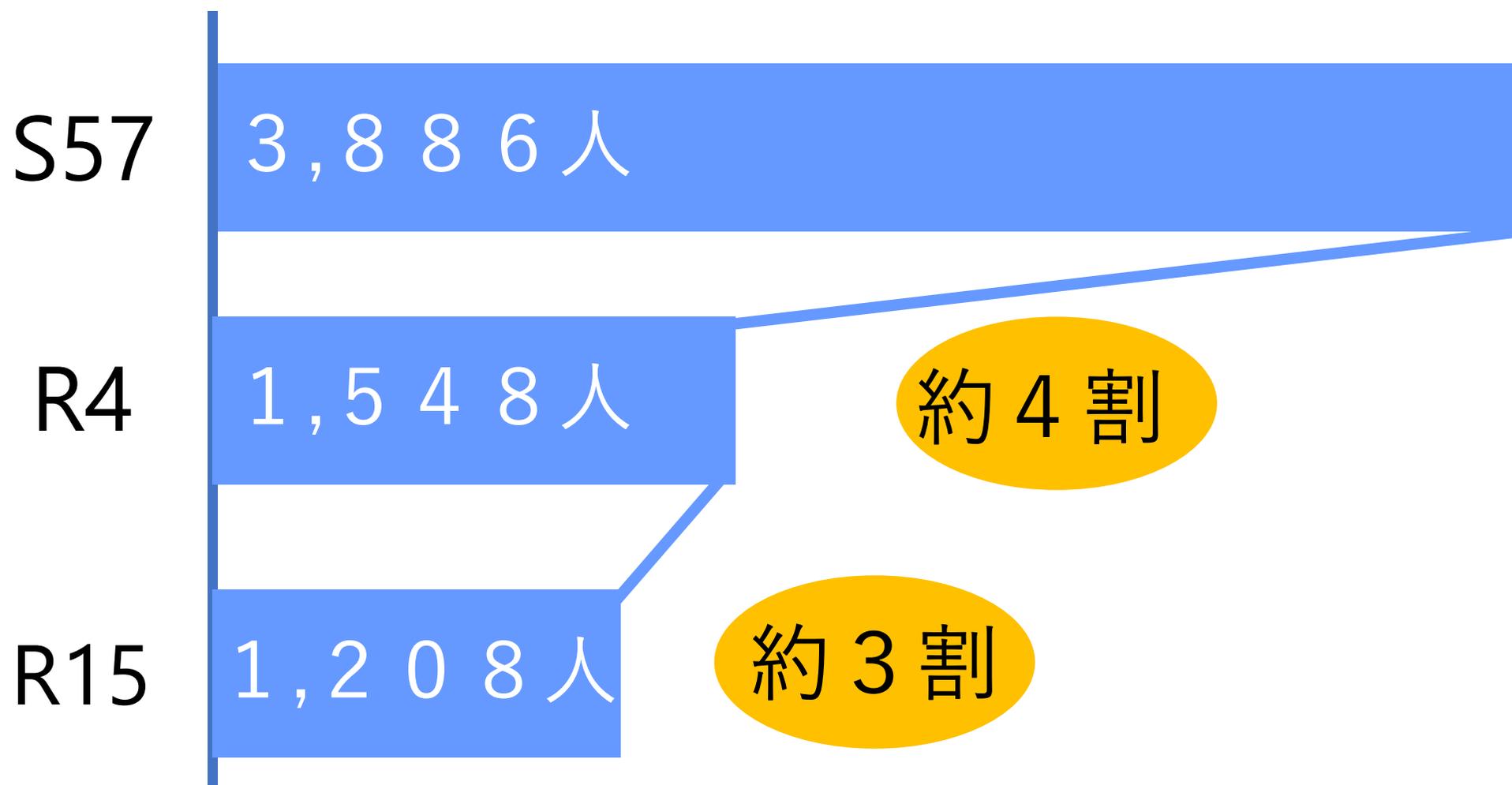
Q 宮代町で児童生徒数が
一番多かった時期は？

小学校：S57年 3,886人

中学校：S62年 2,018人

Ⅰ 児童生徒数の減少

小学校の児童数の推移



Ⅰ 児童生徒数の減少

小学校の児童数内訳(R15推計)

須賀小

2 1 4 人

笠原小

4 0 1 人

東小

3 8 9 人

百間小

2 0 4 人

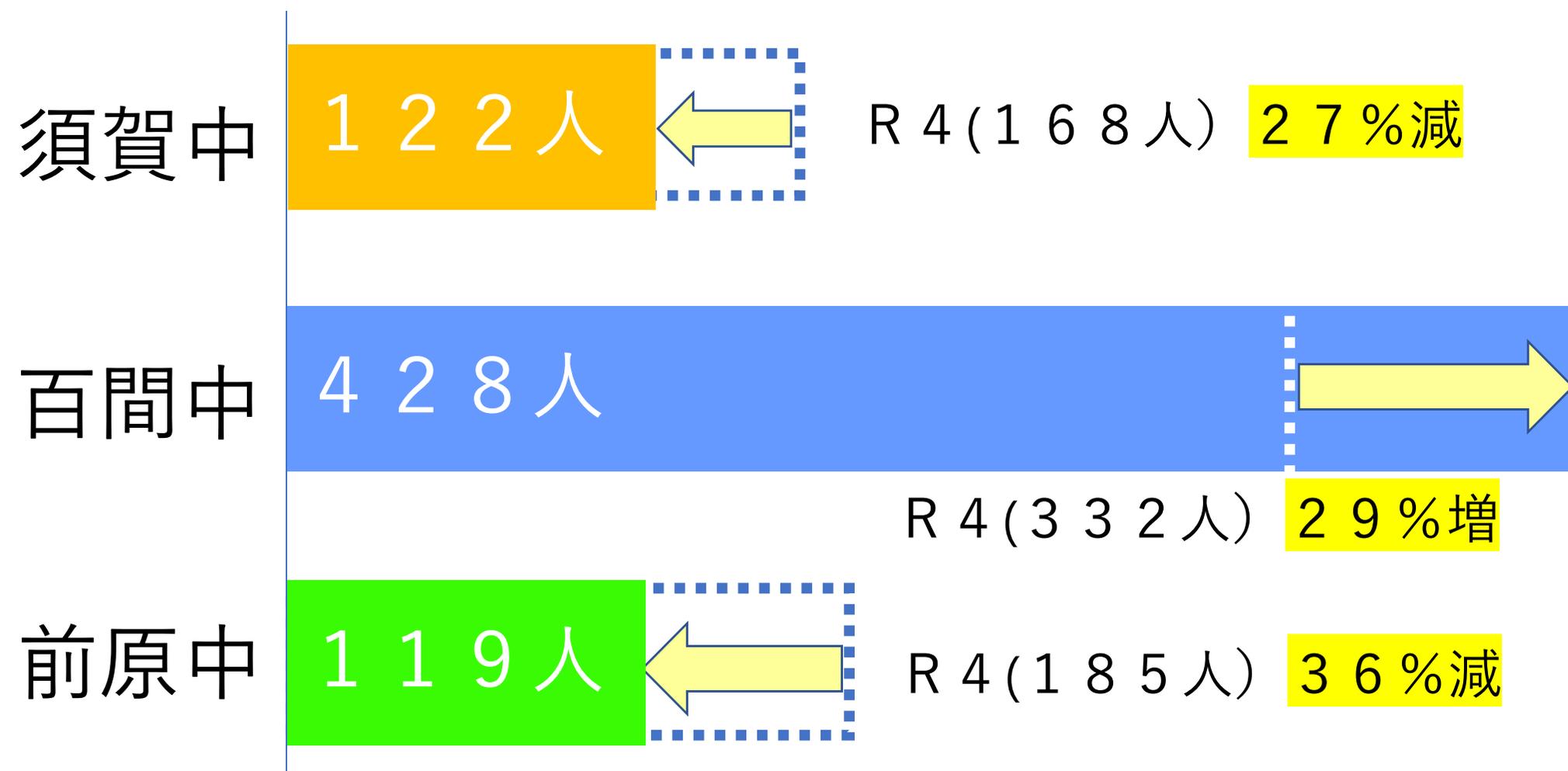
Ⅰ 児童生徒数の減少

中学校の生徒数の推移



Ⅰ 児童生徒数の減少

中学校の生徒数内訳(R15推計)



中学校別学級数（将来予測）

計3クラス

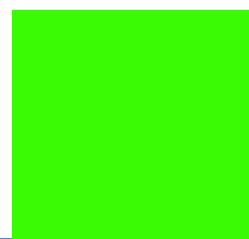
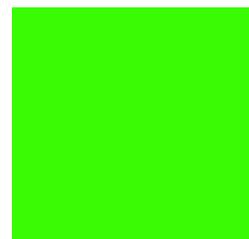
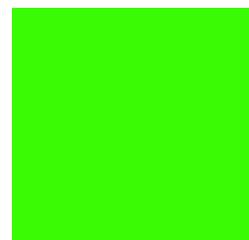
計12クラス

計3クラス

3年

2年

1年



須賀中

百間中

前原中

単学級のメリット

3クラス

3年



- 一人一人の学習状況等の把握による、きめ細かい指導

2年



- 一人一人がリーダーを務める機会の増

1年



単学級のデメリット

3クラス

3年



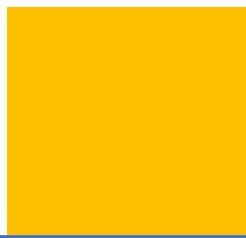
●人間関係の固定化

2年



●教員の減

1年



●部活動選択肢の減
(生徒・保護者の声)

取組を進める理由

1 児童生徒数の減少

2 施設の老朽化

- ・新しい教育環境への対応

2 施設の老朽化

- ・新しい教育環境への対応

	須賀小学校	百間小学校	東小学校	笠原小学校
建物名	第4校舎	第1校舎	特別教室棟	校舎
建築年	S37.6	S38.7	S38.6	S56.8
経過年数	59年	58年	58年	40年

	須賀中学校	百間中学校	前原中学校
建物名	校舎	2階校舎	校舎
建築年	S48.3	S39.7	S57.8
経過年数	49年	57年	39年

2 施設の老朽化

- ・新しい教育環境への対応



取組を進める理由

- 1 児童生徒数の減少
- 2 施設の老朽化
 - ・新しい教育環境への対応

3 これまでの取組（H23～）

H23 公共施設マネジメント計画

H26 小中学校適正配置審議会 答申

H28.3 小中学校適正配置計画

H28.11 慎重な取組を求める請願書

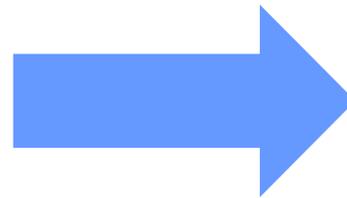
R3.5 小中学校適正配置審議会 答申

3 これまでの取組（H23～）

H23 公共施設マネジメント計画

公共施設マネジメント会議

提言

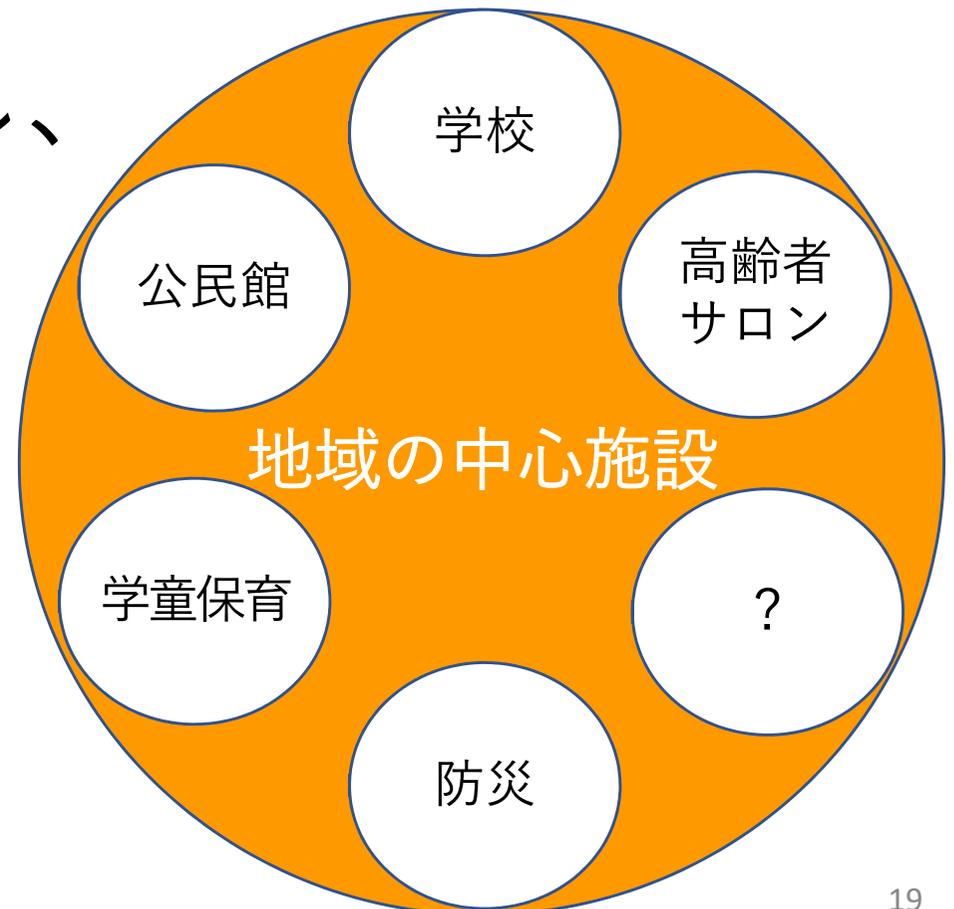


町

3 これまでの取組 (H23~)

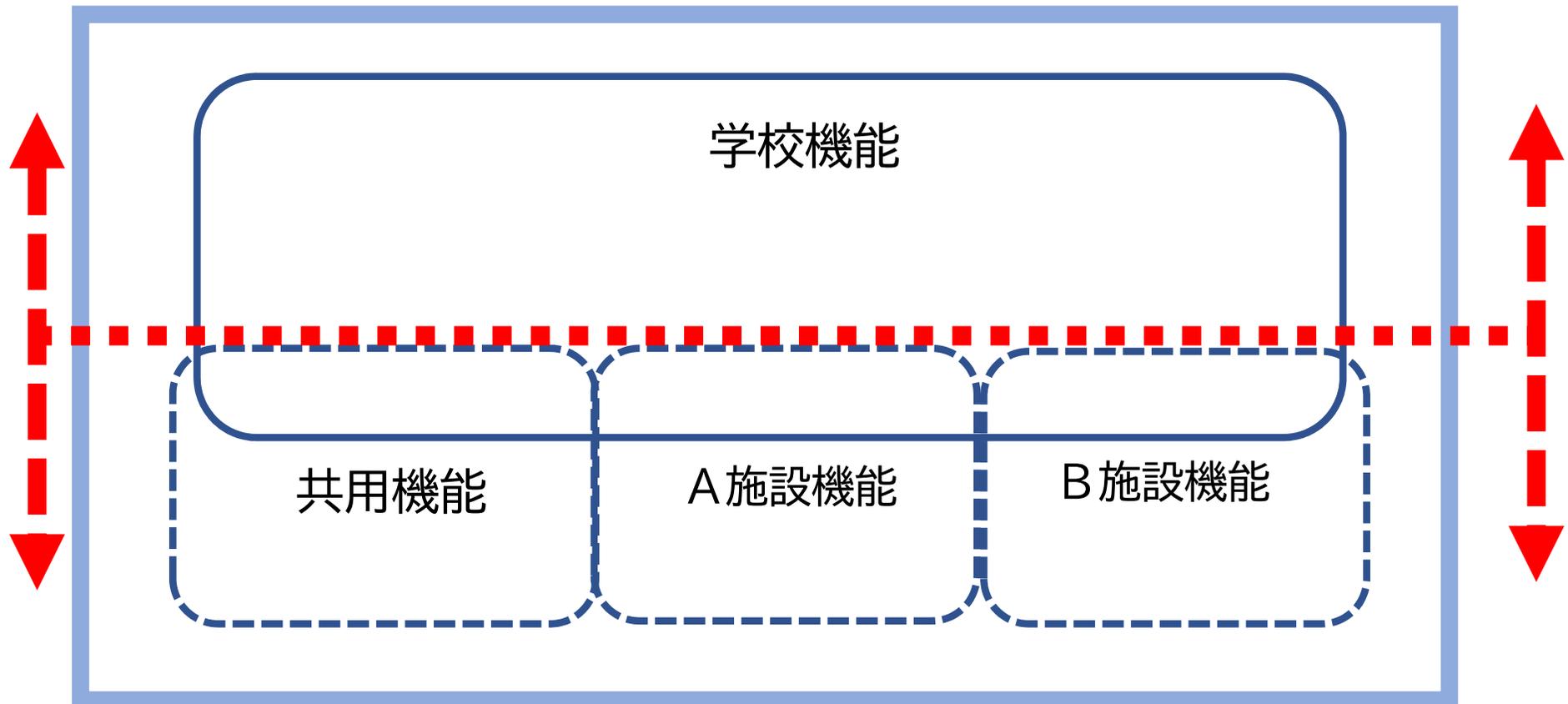
H23 公共施設マネジメント計画

① 学校に機能を集約し、
地域の中心施設へ



3 これまでの取組 (H23~)

H23 公共施設マネジメント計画



3 これまでの取組（H23～）

H23 公共施設マネジメント計画

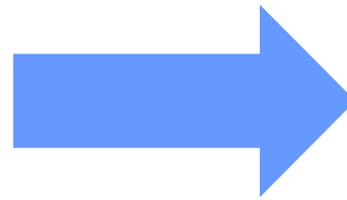
- ②小学校は、駅を中心に「3校」に
中学校は、「1校又は2校」に再編

3 これまでの取組 (H23~)

H23 公共施設マネジメント計画

公共施設マネジメント会議

提言



町

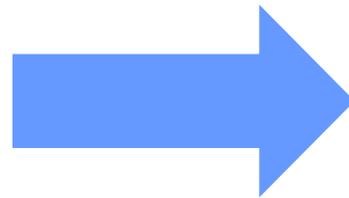
- ①学校に機能を集約し、地域の中心施設へ
- ②小学校は、駅を中心に「3校」に
中学校は、「1校又は2校」に再編

3 これまでの取組（H23～）

H25 小中学校適正配置審議会 設置

小中学校適正
配置審議会

H26.12答申



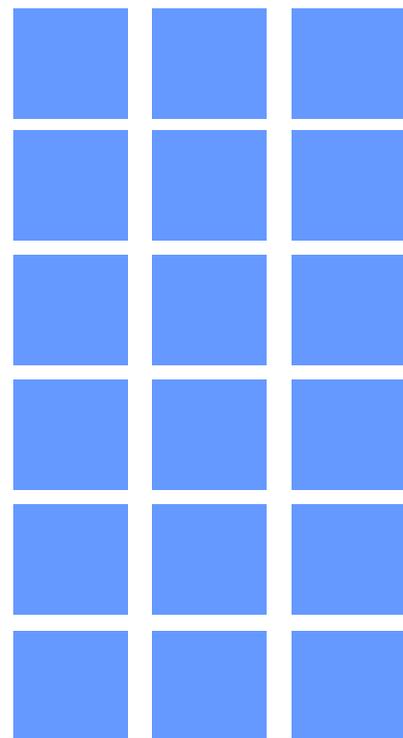
町

3 これまでの取組 (H23~)

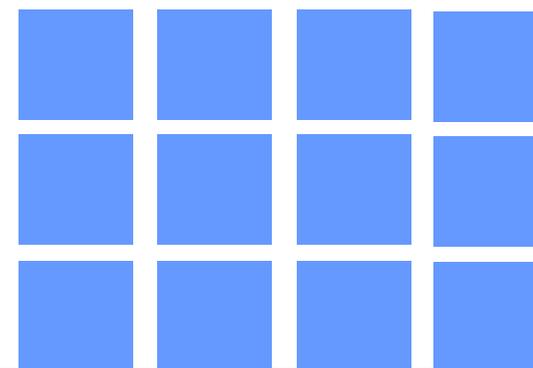
H25 小中学校適正配置審議会 設置

①適正規模「12～18学級」

小学校
3クラス以上



中学校
4クラス以上



3 これまでの取組（H23～）

H25 小中学校適正配置審議会 設置

- ②学校位置は、「安全第一」を優先
「利便性」と「自然環境」のバランス
を備えた学びの環境

3 これまでの取組（H23～）

H25 小中学校適正配置審議会 設置

③「学校」「地域」双方の活動が、
より発展できる仕組みへ

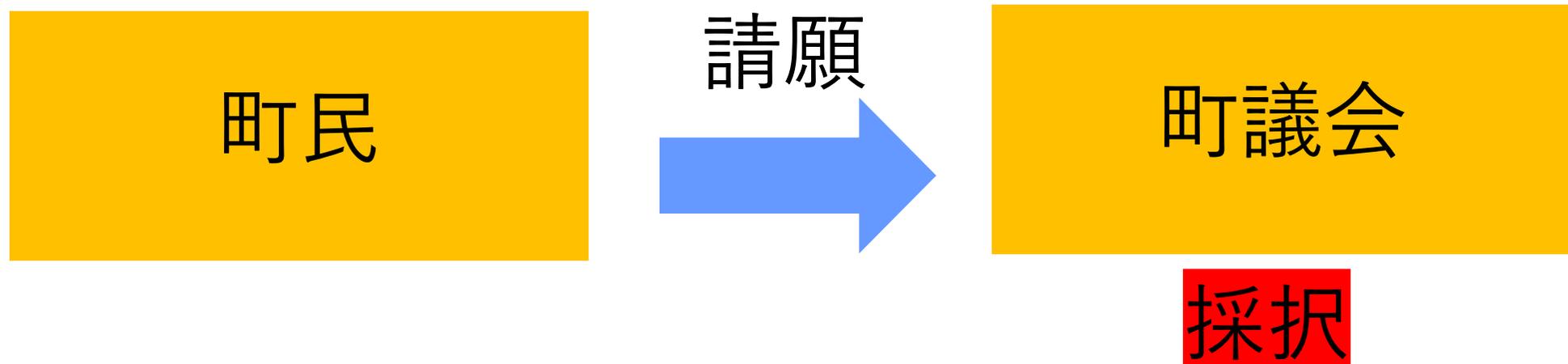
3 これまでの取組（H23～）

H28.3 宮代町立小中学校適正配置計画 策定

- ①小学校を「地域の中心施設」として、多機能化・複合化する
- ②小学校を3校に、中学校を1校に再編する。

3 これまでの取組（H23～）

H28.11 慎重な取組を求める請願書



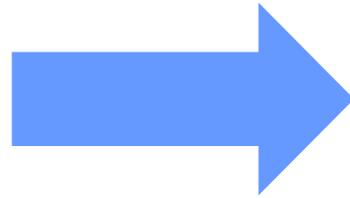
子どものことを第一に考え、早急に進めず、保護者及び多くの町民の声を反映させ、計画の見直しと再検討を求める。

3 これまでの取組（H23～）

R1 小中学校適正配置審議会 再設置

小中学校適正
配置審議会

R3.5答申



町

- ①小中学校適正配置計画は「妥当」
- ②再編は、令和9年度に再検討
- ③中学校の再編は、通学の安全性確保を

3 これまでの取組（H23～）

H23 公共施設マネジメント計画

H26 小中学校適正配置審議会 答申

H28.3 小中学校適正配置計画

H28.11 慎重な取組を求める請願書

R3.5 小中学校適正配置審議会 答申

4 これからの取組

20年

4 これからの取組

小学校

- ① 駅を中心とする3つのエリアに、
小学校を配置する。
- ② 小学校を「地域の中心施設」として、
多機能化・複合化する。

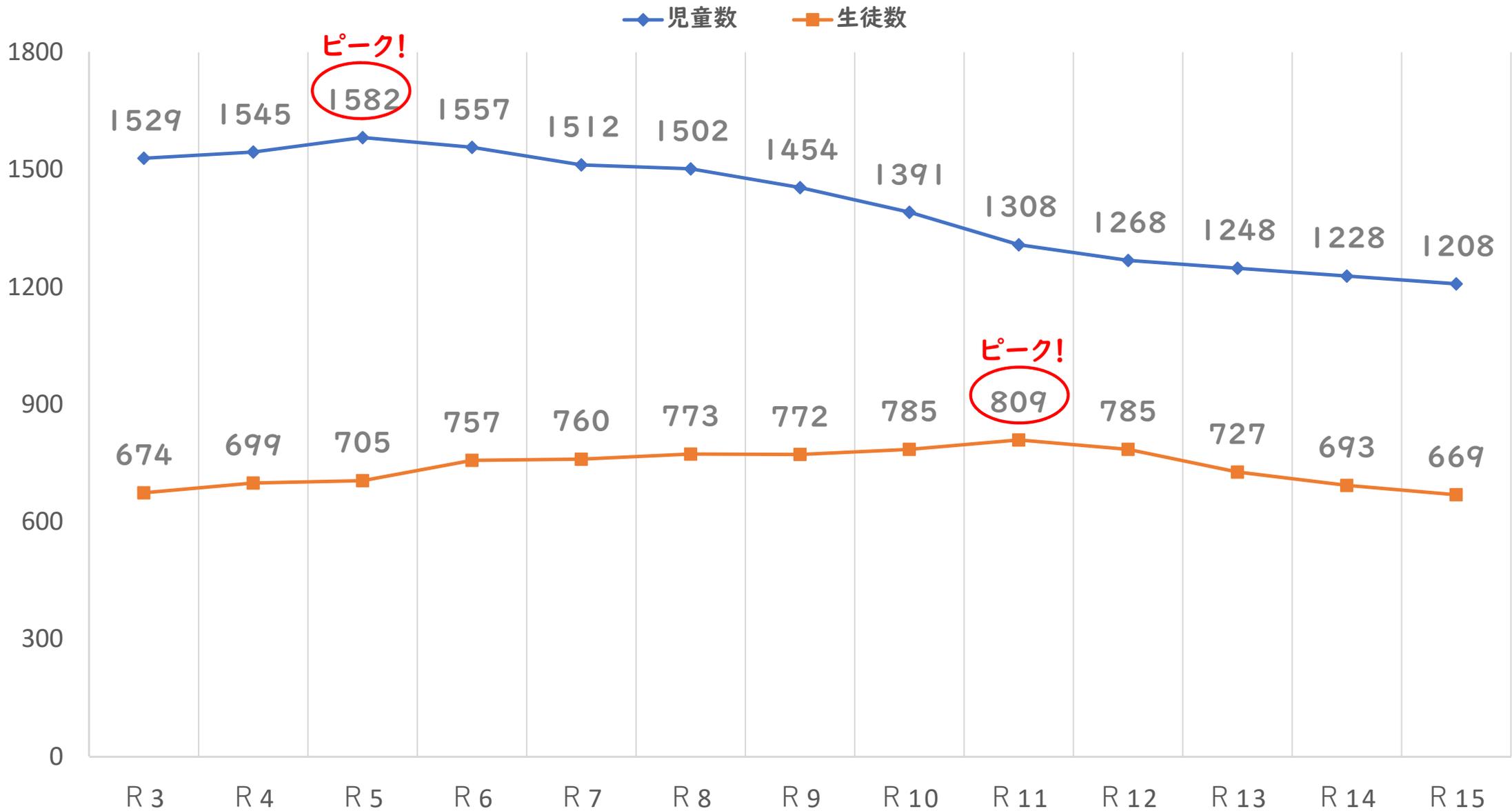
4 これからの取組

中学校

- ・一定の学校の規模を確保し、最適な教育環境の場を提供する。

今後の児童生徒数の予想される推移

(人)



4 これからの取組

●第1期 R4～R13

「須賀小学校」と「百間小学校」の再整備

学校に機能を集約し、地域の中心施設へ

和戸駅

東武
動物公園駅

姫宮駅

4 これからの取組

●第2期 R14～R23

笠原小学校、東小学校の再編

中学校3校の再編

4 これからの取組

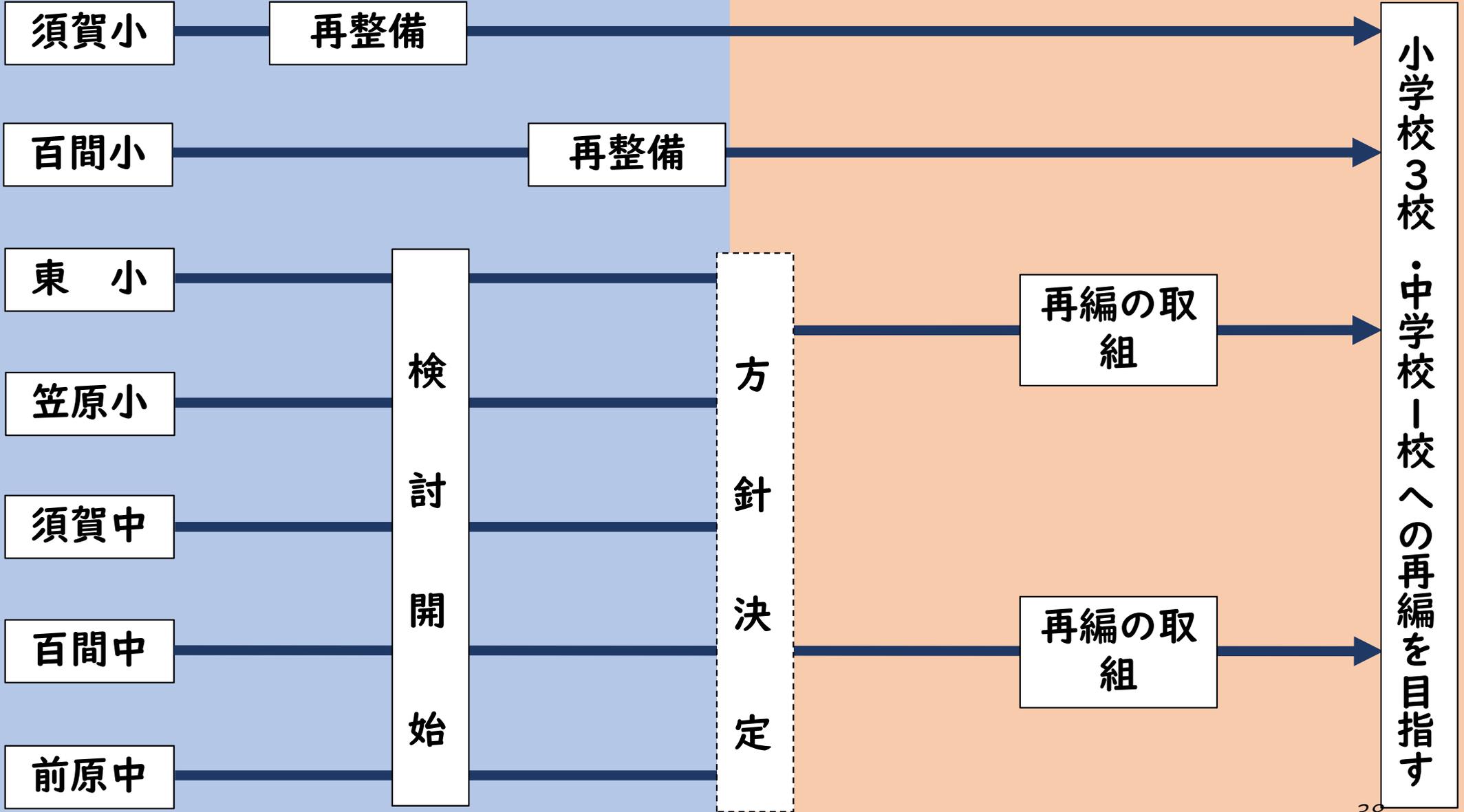
●令和9年度

第2期に向けて

「小中学校再編の取組」について、再検証

第1期（令和4～13年度頃）

第2期（令和14～23年度頃）



小学校3校・中学校1校への再編を目指す

小中学校の適正配置の取組とは？

「これからの子どもたちにとって
最高の教育環境を提供するには、
どうすればよいか。」



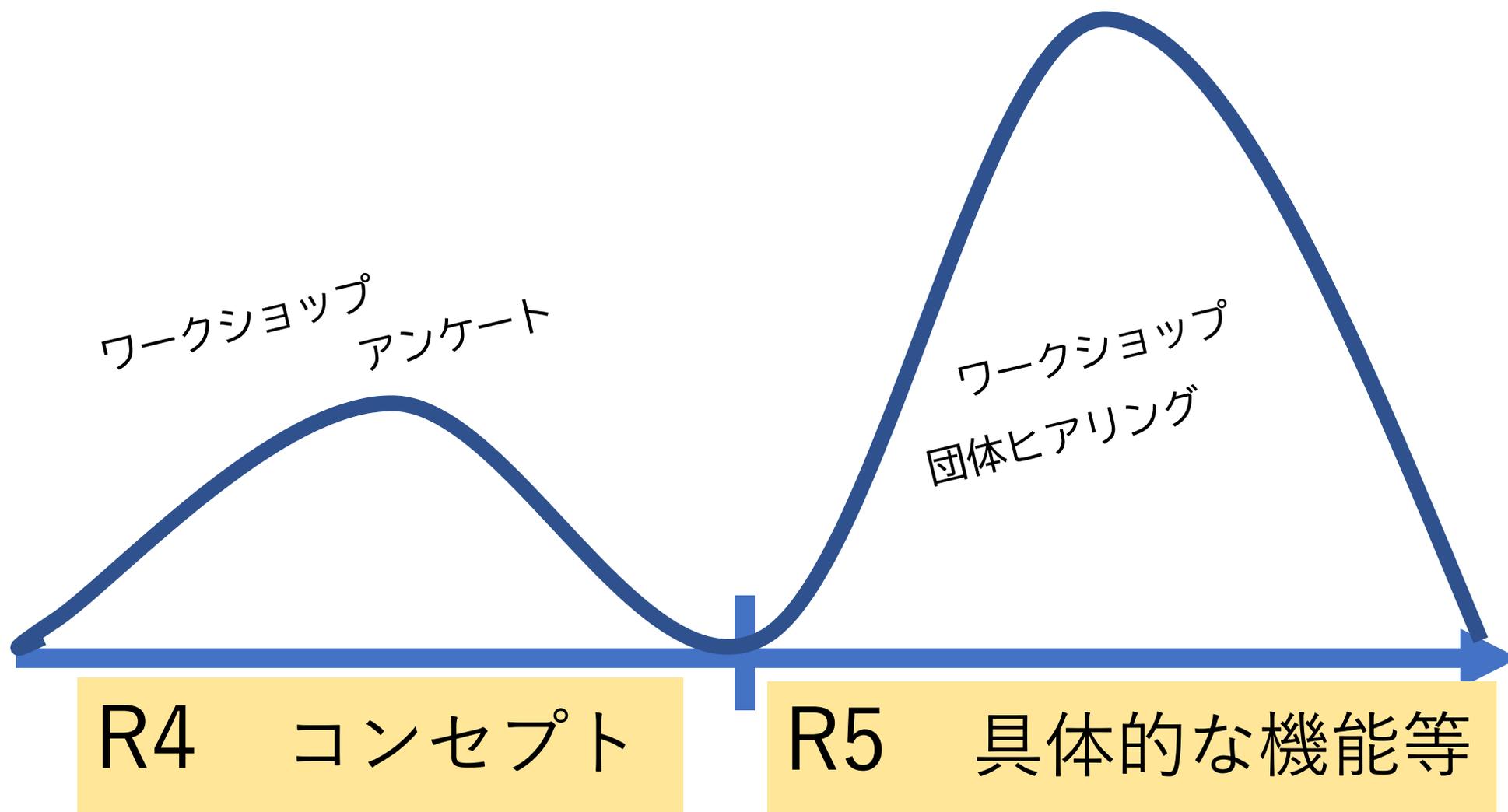
須賀小学校地域拠点施設 検討委員会の役割

●須賀小学校地域拠点施設を
「みんなが集まる場」「地域に愛さ
れる場」とするために「どんな場や
役割」が必要か検討を行う。

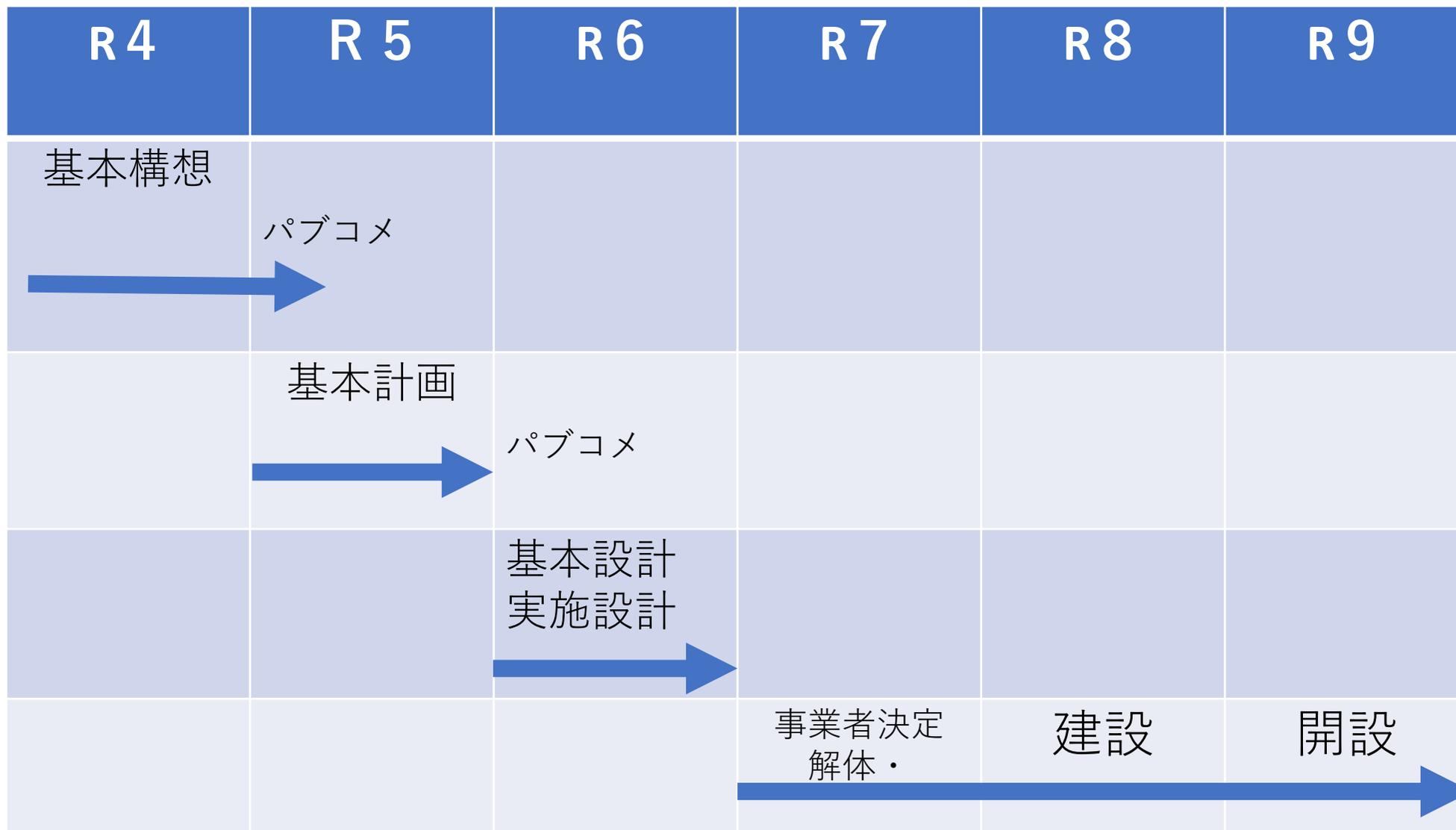
R4 基本構想の検討（コンセプト）

R5 基本計画の検討（具体的な機能等）

須賀小学校地域拠点施設 検討委員会の役割



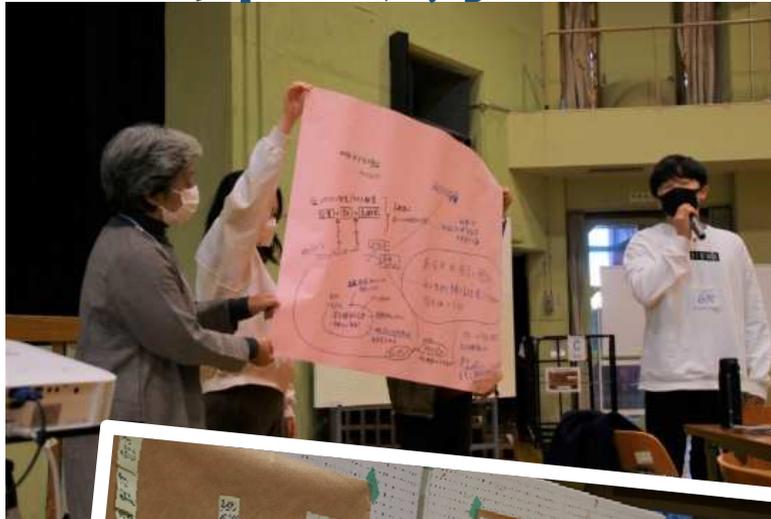
須賀小学校地域拠点施設開設までのスケジュール



令和4年度スケジュール

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
情報収集	ワークショップ	アンケート	現地視察			
検討委員会		★		★		★
庁内合意 (自治体経営会議)				★	★	★

第2期のマネジメント計画づくり





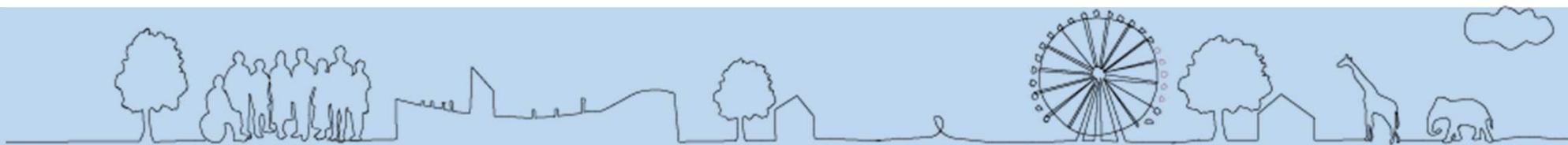
第2期のマネジメント計画づくり

無作為に選んだ町民によるワークショップでは



- ・今あるものの有効活用
- ・ハコモノより中身が大事！
多くの人を楽しめる施設を
- ・ハコモノはもう作らない！
あるものを活用する。
- ・埋もれている人材の活用
- ・行政だけでなく、民間の活用

建物より、場、空間、機能を求める声が多かった





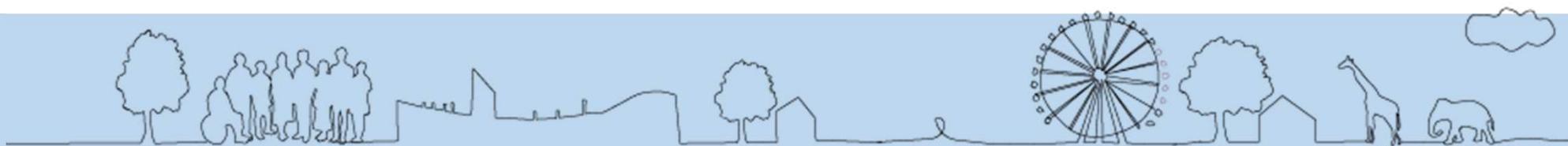
第2期のマネジメント計画づくり

地域コミュニティの場に必要な3つの要素

エリア内の有機的な関係をつくる

ハブとしての機能を果たす「地域のコーディネーター」

市民によるプロデュース





第2期のマネジメント計画づくり

地域コミュニティの場に必要な3つの要素

目的があって
行く場所

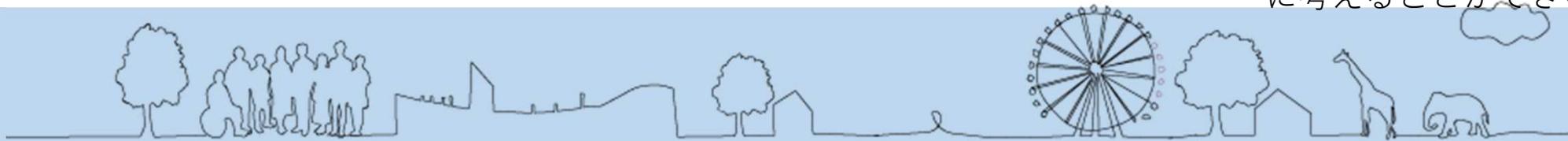
- 防災や防犯などの地域活動・課題解決ができる(大きな目的)
- 時々イベントや交流ができる(中ぐらいの目的)
- 仲間とちょっとした用事で集まれる(小さな目的)
- キッチンカーで飲食を買うことができる(小さな目的)

目的がない
人もいられ
る開放的な
居場所

やりたいこ
とをサポート
してくれ
る場

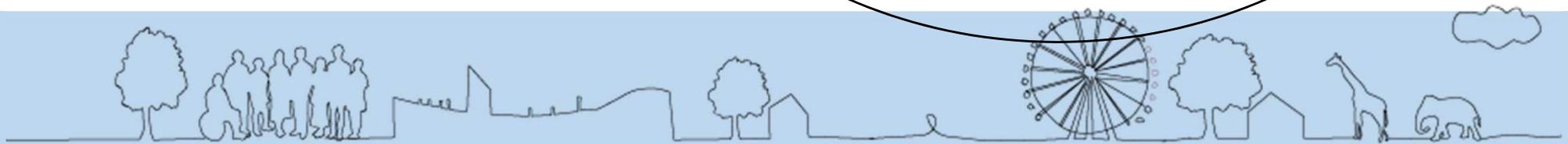
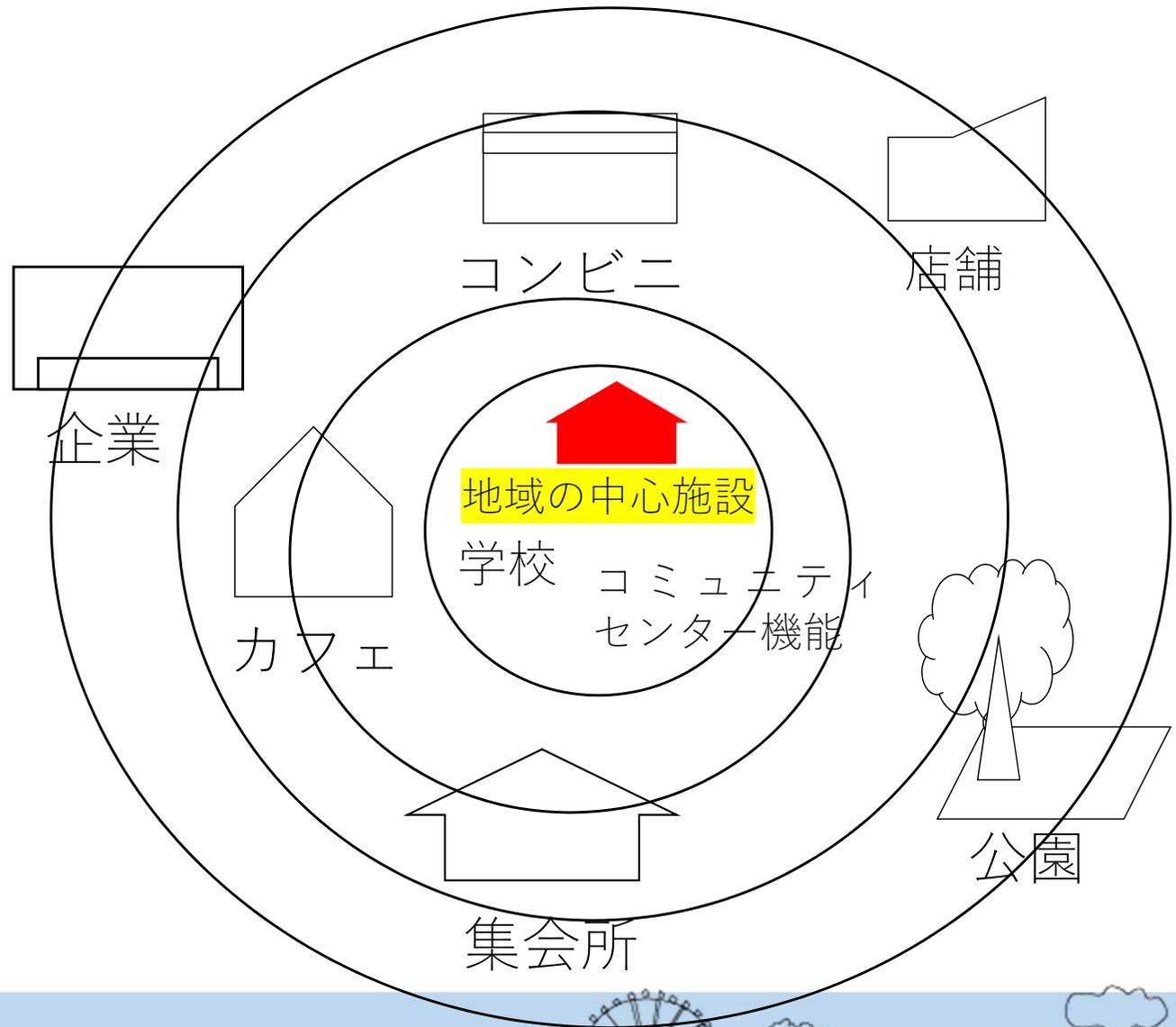
- 求めている情報が得られる
- 相談すべき相手やつながるべき相手を探すことができる
- 団体の活動について一緒に考えることができる

- コーヒーを片手に図書や新聞を閲覧できる
- 庭のベンチで季節ごとの花や木を観賞できる
- 子どもが自由に遊べる





エリア内の 有機的な関 係をつくる



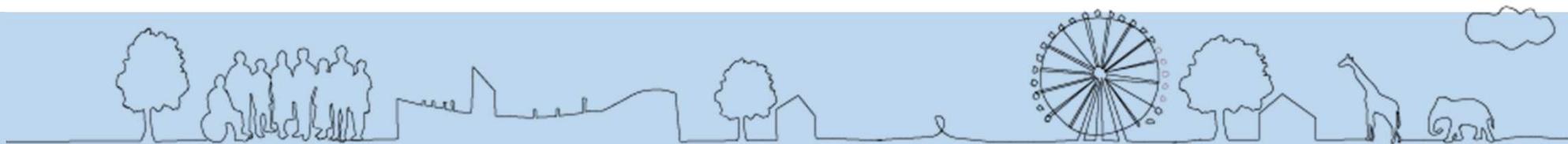


ハブとしての 機能を果たす 「地域のコー ディネーター」





市民による プロデュース



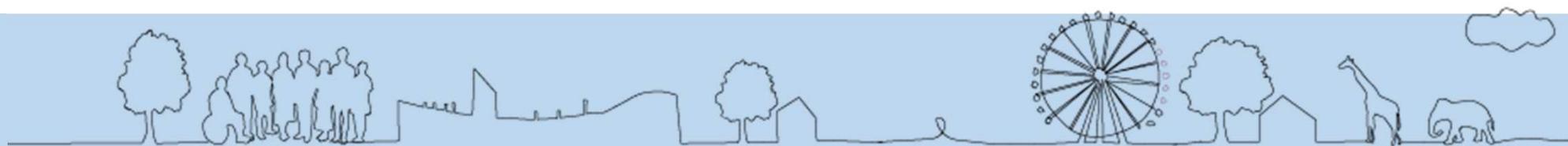


地域コミュニティの場に必要なた3つの要素

エリア内の有機的な関係をつくる

ハブとしての機能を果たす「地域のコーディネーター」

市民によるプロデュース





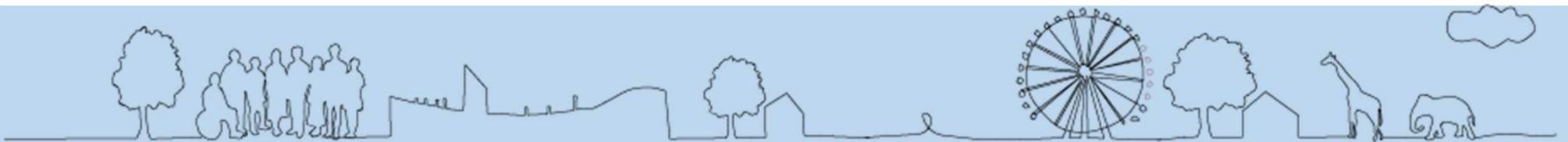
無作為抽出ワークショップ

あったらいいなこんな場所～須賀小学校にみんなが集まる地域の施設～

● 10/30日(日)9時30分～16時 須賀小体育館

● 小学校5年生以上2,000人に案内状を送付

計36人参加(町長・検討委員3名含む)





無作為抽出ワークショップ

あったらいいなこんな場所～須賀小学校にみんなが集まる地域の施設～



ワールドカフェのルール
①人の意見を尊重しましょう
②話は短く・簡潔に
③問いに集中しましょう

